【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【公開番号】特開2013-60852(P2013-60852A)
【公開日】平成25年4月4日(2013.4.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-016
【出願番号】特願2011-199127(P2011-199127)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｂ　43/02　(2006.01)
Ｆ０４Ｂ　43/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｂ　43/02　F
Ｆ０４Ｂ　43/02　D
Ｆ０４Ｂ　43/02　N
Ｆ０４Ｂ　43/04　B

【手続補正書】
【提出日】平成26年9月9日(2014.9.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
液体流路を介して液体を送液する送液ポンプであって、
容積が変更可能なポンプ室と、
前記ポンプ室から前記液体流路に向けて前記液体が流出する出口流路と、
前記出口流路と前記液体流路との間に設けられて、前記ポンプ室のコンプライアンスよりも大きなコンプライアンスを有する出口側バッファー室と、
前記ポンプ室に前記液体を供給する入口流路と、を備え、
前記ポンプ室の容積を増減させる１サイクルあたりの時間が、前記ポンプ室のコンプライアンスと前記出口流路の入口から前記液体流路の出口までの流路抵抗との積で定められる時定数よりも短いことを特徴とする送液ポンプ。
【請求項２】
請求項１に記載の送液ポンプにおいて、
前記出口流路の流路抵抗が、前記液体流路の流路抵抗よりも低いことを特徴とする送液ポンプ。
【請求項３】
請求項１又は請求項２に記載の送液ポンプにおいて、
前記出口側バッファー室のコンプライアンスは、前記ポンプ室のコンプライアンスに対して１０倍以上であることを特徴とする送液ポンプ。
【請求項４】
請求項１ないし請求項３のいずれか一項に記載の送液ポンプにおいて、
前記入口流路と前記ポンプ室との間に設けられた逆止弁と、
前記入口流路と前記逆止弁との間に設けられた入口側バッファー室と、を備えることを特徴とする送液ポンプ。
【請求項５】
請求項４に記載の送液ポンプにおいて、

前記入口側バッファー室のコンプライアンスが、前記出口側バッファー室のコンプライアンスに対して５倍以上であることを特徴とする送液ポンプ。
【請求項６】
請求項１ないし請求項５のいずれか一項に記載の送液ポンプを用いたことを特徴とする液体循環装置。
【請求項７】
請求項１ないし請求項５のいずれか一項に記載の送液ポンプを用いたことを特徴とする医療機器。